

(公財)青山音楽財団新人助成公演

水野優也

チェロリサイタル

出演...

水野優也「チェロ」
伊藤恵「ピアノ」

2021
12月22日[水]

開演19:00 開場18:30

青山音楽記念館 バロックザール

〒615-8282 京都市西京区松尾大和町9-1

バロックザール
Barocksaal

京 青山音楽記念館



全席自由

3,500円

※未就学児の入場はご遠慮ください
※都合により曲目を変更する場合がございます

- 青山音楽記念館
TEL 075-393-0011
受付 9:30~18:00 (月・火 休館)
- チケットぴあ
0570-02-9999 (Pコード 200-364)

チケット
ぴあ



Program

- バッハ: 無伴奏チェロ組曲 第3番 ハ長調 BWV1009
- シューベルト: アルペジオーネソナタ イ短調 D821
- シューマン: 幻想小曲集 作品73
- ショパン: チェロソナタ ト短調 作品65

【問い合わせ】 ● 青山音楽記念館 TEL 075-393-0011 〒615-8282 京都市西京区松尾大和町9-1
● CASA MUSICA カーサ ムジカ MAIL: casamusica503@gmail.com

水野 優也

Cello



©T.Tairadate

1998年生まれ、東京都出身。第89回日本音楽コンクールチェロ部門第1位及び岩谷賞(聴衆賞)、黒柳賞、徳永賞、全部門を通じて最も印象的な演奏に対し贈られる増沢賞を受賞。第13回東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び聴衆賞。第23回コンセールマロニエ21弦楽器部門第1位。ソリストとして東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団、大阪交響楽団などと共演。国内各地でのソロリサイタルをはじめ、パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌(PMF)、武生国際音楽祭、いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭、宮田大「大ism」、藤沢にゆかりのある音楽家たち、長谷川陽子・向山佳絵子プロデュース「チェロ・コレクション」、チェロ・リパブリカ、Music Dialogue、反田恭平 with MLM ナショナル管弦楽団、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などに出演。ドイツ・ドレスデン音楽祭ではスカラシップを得てダーヴィッド・ゲリンガス、フランス・ヘルメルソンの各氏に学ぶ。草津夏期国際音楽アカデミーでは遠山基金奨学生としてタマーシュ・ヴァルガ氏のマスタークラスを受講、西村朗音楽監督賞受賞。公益財団法人江副記念リクルート財団、公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション、各奨学生。これまでにチェロを河地正美、常光聡、倉田澄子の各氏に師事。特待生として桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コース修了。現在、ハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽大学にてマイクロシュ・ペレーニ氏のもとで研鑽を積んでいる。ジャパン・ナショナル・オーケストラメンバー、シャネル・ビッグマリオン・デイズ 2020/2021 参加アーティスト。

伊藤 恵

Piano

幼少より有賀和子氏に師事。桐朋学園高校を卒業後、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学、ハノーファー音楽大学において名教師ハンス・ライグラフ氏に師事。エピナール国際コンクール、J.S.バッハ国際音楽コンクール、ロン＝ティボー国際音楽コンクールと数々のコンクールに入賞。1983年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールのピアノ部門で日本人として初の優勝。サヴァリッシュ指揮バイエルン州立管と共演し、ミュンヘンでデビュー。その後もミュンヘン・シンフォニカ、フランクフルト放送響(現 hr 響)、ベルン響、チェコ・フィルの定期公演などに出演。日本では「若い芽のコンサート」でN響との共演をはじめ、各オーケストラとの共演、リサイタル、室内楽、放送と活躍を続けている。CDの代表作は、シューマン・ピアノ曲全曲録音「シューマニアーナ 1～13」。2007年秋には全集完成記念コンサートを行った。さらに、2008年にリリースを開始した「シューベルトピアノ作品集 1～6」は1作ごとに注目を集め、第6集は2015年度レコード・アカデミー賞、第70回文化庁芸術祭賞優秀賞を受賞。最新盤は「ベートーヴェンピアノ作品集 2」(フォンテック)。1999年から2006年までの8年シリーズではシューマンを、2008年から2015年4月までの新たな8年シリーズではシューベルトを中心としたリサイタルを開催し好評を博した。2018年からはベートーヴェンを中心としたシリーズを開始。1993年日本ショパン協会賞、1994年横浜市文化賞奨励賞受賞。2018年ジュネーヴ国際音楽コンクールの審査員も務めた。現在、東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。



©Shumpei Ohsugi